

抗菌薬適正使用の手引き（第一版）のコンセプト（案）

● 目的

- ・臨床の現場において、抗菌薬の適正使用を推進する上で重要な項目について、一般診療の場での実践的な対応を中心に解説する。

● 主な対象者

- ・手引きの利用者：外来で診療に携わる医療従事者
- ・手引きの対象患者：基礎疾患のない患者

● 内容

- ・総論と疾病ごとの各論で構成する。
- ・総論では、抗菌薬の適正使用の考え方等について解説する。
- ・各論では、日常診療で一般的に遭遇する主要な疾病について解説する。具体的に、第一版の各論では、上気道感染症（感冒）及び急性下痢症について解説する。
- ・各論では、特に抗菌薬を使うべきか否かを迷う状況での助けになるよう適切な診療の進め方について、診断方法及び鑑別診断、治療方針、患者・家族への具体的な伝え方について解説する。

● 編集の方針

- ・科学的知見を踏まえて作成する。
- ・頁数を少なめにし、図等も入れた簡潔かつ平易な内容とする。
- ・今後必要に応じて、改定を検討する。

● 留意事項

- ・今後の検討が必要な事項についても議論する。

抗菌薬適正使用の手引き 第一版（仮称） 目次(イメージ)

- はじめに
 - 策定の経緯
 - 策定の目的
 - 手引きの対象
 - 各論の想定患者
- 総論
 - 抗菌薬適正使用とは
 - 抗菌薬使用の適応病態
 - 抗菌薬の不適正使用とは
 - 推奨事項
- 各論
 - (1) 急性気道感染症
 - 急性気道感染症とは
 - 急性気道感染症の疫学
 - 急性気道感染症の診断方法および鑑別疾患
 - 治療方法
 - 患者・家族への説明
 - (2) 急性下痢症
 - 急性下痢症とは
 - 急性下痢症の疫学
 - 急性下痢症の診断方法及び鑑別疾患
 - 治療方法
 - 患者・家族への説明